

# I 平成21年度事業報告書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

## 1 主要な会議

### (1) 理事会

区 分	開 催 日	議 案 等
第1回	平成21年6月9日	20年度事業実績報告及び決算 理事長及び常務理事の互選
第2回	平成22年2月18日	22年度事業計画及び収支予算

### (2) 評議員会

区 分	開 催 日	議 案 等
第1回(書面評決)	平成21年4月17日	理事の補欠選任
第2回	平成21年5月29日	20年度事業実績報告及び決算 役員を選任
第3回(書面評決)	平成21年8月10日	理事の補欠選任
第4回(書面評決)	平成22年1月18日	理事の補欠選任
第5回	平成22年2月18日	22年度事業計画及び収支予算

## 2 事業報告

### (1) 環境学習事業

#### ① 自主事業

ア 自然体験セミナー「屋久島物語」

広く全国から参加者を募り、自然を体験したり環境文化を学ぶため、屋久島のフィールドを活用した自然観察や島内の方々との交流等を行った。

名 称	実 施 内 容	実 施 時 期	参加者
新緑の森歩き	白谷雲水峡トレッキング, 春の里地散策	平成21年4月17日～19日	13人
世界遺産を歩く	西部林道, 屋久杉の森トレッキング	5月8日～10日	10人
うみがめの島	ウミガメ観察, 滝めぐり	6月26日～28日	15人
体験!!サンゴの海	シュノーケリング, 屋久杉の森トレッキング	7月9日～12日	8人
おもいっきり大自然	イカダ下り, ウミガメ観察	8月6日～9日	22人
水の島に遊ぶ	カヌー体験, 郷土料理作り	9月10日～13日	6人
森の歴史をたどる	森林軌道トレッキング, 林業体験	10月23日～25日	6人
南の島の秋探し	白谷雲水峡トレッキング, 焼酎工場見学	11月13日～15日	7人
家族で楽しむ森歩き	白谷雲水峡トレッキング, 里地散策	平成22年1月9日～11日	13人
屋久島の恵み	屋久杉の森トレッキング, タンカン収穫	2月19日～21日	12人
早春の森歩き	屋久杉の森トレッキング, 西部林道	3月10日～12日	5人
計	11回		117人

イ ふるさとセミナー

島内の方々を対象に、屋久島の身近な自然を素材にしてふるさとの新たな一面を発見し、自然のすばらしさを学ぶための体験型研修を行った。

名 称	実 施 内 容	実 施 時 期	参加者
研修センターオープンデー	皆既日食レク, 日食メガネ作り	平成21年7月21日	34人
冒険しよう	テント宿泊, たき火料理, キャンドル作り	平成21年11月28日～29日	12人

## ウ 星空観察会

星座や宇宙への関心を高めるため、島内各地で季節ごとの星空観察を行った。

名 称	実施時期	参加者
春の星空観察会（永田小学校）	平成21年4月25日	31人
夏の星空観察会（自然館広場）	平成21年7月21日	30人
秋の星空観察会（神山小学校）	平成21年10月9日	105人

## エ 皆既日食レクチャー

平成21年7月22日の皆既日食を安全に観察ができるよう、観察する際のポイントや注意点の確認、日食観察用メガネの製作指導を行った。

名 称	会 場	実施時期	参加者
第1回	安房小学校	平成21年4月11日	69人
第2回	永田小学校	平成21年4月25日	36人
第3回	岳南中学校	平成21年5月2日	51人
第4回	宮浦小学校	平成21年6月6日	86人

## オ 自然に親しむ集い

環境省、屋久島町と共催で、屋久島の身近な自然のすばらしさを学ぶため、島内の方々を対象に自然観察活動や自然体験活動を行った。

名 称	実施時期	参加者
コケの観察会	平成21年6月21日	16人
シュノーケリング体験	平成21年9月6日	12人

## ② 環境学習受入事業

財団が作成した学習プログラムを活用して宿泊研修、一日研修、短時間研修を行うグループの受入れを行った。

区 分	団体数	延べ参加者
宿 泊 研 修	50団体	3,553人
一 日 研 修	7団体	192人
短時間研修	17団体	190人
合 計	74団体	3935人

## ③ 人材養成事業

エコツアーガイドの育成、資質向上を図るため、ガイドセミナーを行った。

名 称	実施時期	参加者
ガイドセミナー「教養編」	平成22年1月19日～21日	24人
ガイドセミナー「救急法編」	平成22年2月2日～4日	22人

## ④ 屋久島高校環境学習支援

自然の中で行われる学習活動（地学学習による屋久島の成り立ち、屋久杉の植生・利用の歴史調査等）を通じて、屋久島の自然環境への理解を深めたり、人と自然の関わりを考えることを目的に、屋久島高等学校環境コースの学生の宿泊研修に対し支援を行った。

名 称	実施時期	参加者
秋 季	平成21年11月19日～20日	生徒11人
冬 季	平成22年1月28日～29日	生徒10人
春 季	平成22年3月18日～19日	生徒11人

### ⑤ 屋久島研究講座

島内の方々を対象に、屋久島についての理解を深めてもらうため、屋久島について調査研究した内容を講義形式やシンポジウム形式で発表する屋久島研究講座を実施した。

回	講演日	演 題	講 師	参加者
1	6月24日	屋久島で見る皆既日食と星空の楽しみ 宇宙の大きさと宇宙人	輝北天球館館長 西井上剛資 陶芸家 大島 久	109名
2	9月8日	屋久島の気候・水環境に今何が起きているか ①ヤクシマカワゴロモの生態と環境について ②円錐形屋久島における放射状流下河川群の水質分布特性 ③屋久島の気候汚染 ④屋久島西部溪流における硝酸による酸性化 ⑤大陸由来の気候汚染物質による河川及び森林への影響	一湊中学校生徒 摂南大学教授 海老瀬潜一 富山県立大学教授 川上 智規 富山県立短期大学 藤瀬 絵理 滋賀県立大学教授 永淵 修	113名
3	9月9日	屋久島の生物の豊かな関係 ①動物たちの森での役割ー木の実を食べてタネを運ぶ ② 屋久島に生育する多種多様なキノコ類	京都大理学部研究員 寺川 眞理 森林総合研究所特別研究員 佐藤 博俊	134名
4	3月21日	私の屋久島～屋久島の植生と私の屋久島への想い～	屋久島環境文化村中核施設館長 田川 日出夫	60名

### ⑥ 研究者ネットワークの構築・運用

屋久島関連の研究者の名簿作成に係る資料収集やデータベース化を行うことで内容の充実を図り、研究者講演会やセミナーの講師招へい等に活用した。

屋久島関連の研究者の連携を推進するため、メーリングリストを効果的に活用し、ネットワーク内で屋久島関連の情報交換を行った。

(平成22年3月末現在メーリングリスト登録者数：19人)

### ⑦ 環境学習ネットワーク会議

島内の環境学習関連施設等と連携し、事業計画の共有や利用促進のための情報や意見の交換を行った。また、電子メールを利用した情報交換の連絡網の整備・活用を図り、収集した事業計画をホームページ上でも閲覧できるようにした。

### ⑧ 屋久島調査研究視察等協力

屋久島の自然保護や地域づくりの取り組み、環境文化村構想等について、調査研究を行う大学関係者や行政関係者の視察・マスコミ関係の取材等に対して適切な情報提供を行った。

### ⑨ 環境省受託事業の実施(平成21年度霧島屋久国立公園屋久島地区こどもパークレンジャー活動)

小・中学生に屋久島の自然や歴史についての理解を深めさせ、自然の素晴らしさや環境保全の大切さに気付かせるため、野外活動や清掃活動等のレンジャー(自然保護官)業務を体験させた。

実施日	内 容	参加者
平成21年7月28日	ズーフィコス化石観察, 地質観察及び地質マップ作り	小中学生21人
平成21年10月31日～11月1日	シカ柵・植生観察, サルの糞洗い, 壁新聞の作成	小中学生19人

## (2) 環境形成事業

### ① 環境保全普及啓発

環境保全の重要性を啓発するため、マナーガイド、水溶性ポケットティッシュ等を配布した。また、環境省が作成したマナービデオを文化村センターで常時放映した。

### ② 山岳部利用対策

屋久島山岳部車両運行対策協議会が、環境保全と荒川登山口の混雑緩和のためGW（5月2日～5日）と夏期から秋期（7月18日～9月22日）の期間、荒川三叉路から荒川登山口までの一般車両の終日乗り入れ規制及び屋久杉自然館前～荒川登山口間の「荒川登山バス」を運行するに際し、協力・推進するとともに、縄文杉周辺等でマナー指導、パトロールを実施した。

また、山岳部トイレのし尿処理問題に関し、環境省が登山道6カ所に試験的に設置した簡易型携帯トイレの利用の呼び掛けを行うとともに、利用者に対するアンケート調査に協力したほか、山岳部トイレのし尿処理費用を屋久島を訪れた方々に負担してもらおう「屋久島山岳部保全募金（募金額：一口500円）」について関係機関と連携を図りながら募金・広報活動を行った。

### ③ 環境保全活動支援

環境保全の意識向上のための啓発運動等に取り組んでいる島内の団体等に対する支援を行った。

団体名	事業内容
何かやってる会	割り箸等のリサイクル推進
屋久島町	シカの生息頭数調整（捕獲器5基）

### ④ 屋久島生物多様性保全推進事業

自然共生社会づくりを推進するため、屋久島まるごと保全協会、屋久島・ヤクタネゴヨウ調査隊、屋久島町、当財団の四者で設立している「屋久島生物多様性保全協議会」に参加し、屋久島の絶滅危惧種等の貴重植物の現況分布調査や生物多様性保全に関する普及啓発の会議等を行った。

### ⑤ 自然保護活動

#### ア うみがめ保護

うみがめの産卵環境を保護するため遮光林の植栽・維持管理や海岸清掃を行った。

- ・遮光林維持管理・海岸清掃

委託先	実施場所
NPO屋久島うみがめ館	永田いなか浜、一湊一ツ浜・二ツ浜

- ・海岸清掃

実施日	実施場所
平成21年4月18日 (海祭り海岸清掃)	島内の海岸各所
平成21年6月7日	永田四ツ瀬浜

#### イ ヤクシマシャクナゲ保護管理

平成13年度に小杉谷に植栽したヤクシマシャクナゲの除草、追肥等の管理を行った。（平成21年9月20日「ボランティアの集い」において実施）

#### ウ 屋久島産の苗木を育てる運動

島内の小学校に補植用の苗木や用土等の提供を行った。

#### エ 屋久島の動植物の調査等事業

「屋久島の地質ガイドブック」作成に伴う調査及び資料の収集を行った。

### (3) 交流推進事業

#### ① 情報の収集・提供

ア 財団会報「屋久島通信」(A4版, 12ページ)の発行  
全国の屋久島ファンクラブ会員等に対して, 屋久島の情報を提供した。

号数	発行時期	内 容
第42号	平成21年 7月	山岳部保全募金の特集ほか
第43号	平成21年11月	エコツーリズムの特集ほか
第44号	平成22年 3月	生物多様性保全の特集ほか

イ 財団機関紙「まるりん通信」の発行  
毎月1回島内の全戸に配布し, 財団の活動状況を紹介するとともに, 島民の来館, 参加を呼びかける情報発信を行った。

#### ② 財団ホームページの運用

昨年の英語版ホームページに続き中国語版を作成するなど, 財団ホームページの情報発信機能を充実させ, 屋久島と財団の情報を島内外に発信した。

#### ③ 屋久島ファンクラブの運営・加入促進

財団の活動を支援・協力していただくファンクラブ会員に「屋久島通信」による情報提供を行った。

また, 屋久島ファンクラブへの加入促進や財団のPR等を行う「宣伝大使」の制度を活用し, 出郷者会員を中心に会員増などに努めた。

ファンクラブ会員数	1, 003人
うち会費自動振込利用者数	87人
うち21年度新規加入者数	206人

※ 平成22年3月末現在

#### ④ ボランティアネットワークの構築・運用

ア 屋久島の環境保全活動等に協力していただける人々を登録する環境文化ボランティア制度の周知に努めるとともに, ボランティアの集い, 島内でのボランティア活動を行った。

区 分	活 動 内 容	実施時期	参加者
ボランティア登録者数 269人 (平成22年3月末現在)	日食観察用メガネ制作	6月14日~7月21日	7人
	夏休みイベント手伝い(むらせん夜祭り)	8月23日	1人
	ボランティアの集い	9月19日~21日	延べ5人

イ メーリングリストや文化村センター内に設けてあるボランティアコーナーを利用し, 島内のボランティア情報を提供した。

#### ⑤ 環境文化芸術活動支援

島外の優れた文化芸術活動を行っている方を招へいし, 島民の文化芸術意識の向上を図った。

内 容	開催日時	参加者
熊本陵ピアノコンサート ~生誕200年記念オールショパンプログラム~	平成22年1月24日 13:30~	233人
熊本陵ピアノコンサート ~ピアノで綴る恋人たちへの詩~	平成22年1月24日 19:00~	71人

※その他, 島内で開催された芸術活動について支援を行った。

#### (4) 屋久島地域づくり支援事業

##### ① エコツーリズム支援

エコツーリズム推進法に基づく「屋久島町エコツーリズム推進協議会」へ参画し、エコツーリズム推進のための全体構想策定の協議を行った。また、ガイドセミナーや屋久島研究講座を実施し、ガイドの資質向上に努めた。

##### ② 地域づくり支援

地域づくりを支援するため、イベントや地域活動等に対し支援を行った。

ア イベント枠(5万円/1件)

実施主体	事業内容	開催日
超自然・屋久島ツアー・デー・マーチ大会	第16回超自然・屋久島ツアー・デー・マーチ	5月16日～17日
やくしま夏祭り実行委員会	やくしま夏まつり	7月19日～20日
屋久島ご神山祭り実行委員会	第28回屋久島ご神山まつり	8月2日～3日

イ 一般枠(5万円)

実施主体	事業内容
春牧区	区発足60周年記念事業
安房区	伝統芸能の後継者育成
梶川区	やまいも祭り
吉田区	吉田まんてん祭り
永田区	区文化祭

ウ 屋久島の郷土料理技術伝承講座の開催・支援

#### (5) 財団管理運営事業

##### ① 環境文化村構想の普及啓発

環境文化村構想を普及するため、「財団パンフレット」や「環境学習スポット」、「文化村センターリーフレット」を配布した。

また、関東屋久島会総会(11月29日：東京都)などの出郷者会及び屋久島ファンクラブ関東地区研修会等において、文化村構想の普及啓発を行った。

##### ② 効率的な管理運営の推進

効率的な管理運営や施設の利用促進のための広報に努めるとともに、平成22年度に向けた業務の見直しなどを行った。

また、環境保全募金活動の展開、賛助企業の拡大など財政基盤強化に努めた。

#### (6) 屋久島環境文化村中核施設管理運営等事業

屋久島環境文化村の中核施設である環境文化村センター及び環境文化研修センターの管理運営業務を県から受託し、その適切な管理とともに、利用料増収のための修学旅行生等の団体客確保対策や経費節減による効率的な運営に務めた。

##### ① 開館13周年記念事業

内容	開催日	参加者
島民感謝デー(無料観覧)	8月19日～31日	107人
むらせん感謝デー、まるりん撮影会	8月23日	約400人
お絵かき展	8月23日～31日	約400人
むらせん夜祭り	8月23日	約150人
映画会Ⅰ「おくりびと」(一般向)	8月22日	約250人
映画会Ⅱ「ウォーリー」(子供向)	8月23日	約250人

## ② 交流ホール特別企画展示

内 容	開 催 日
屋久島の地質展（地質の日関連企画）	平成21年5月1日～10日
これまでの屋久島研究講座展	平成21年11月1日～平成21年12月15日
エコバッグ「ふるしき包みましょう」展	平成21年12月23日～平成22年1月17日
「屋久島におけるヤクシカ問題」展	平成22年1月29日～平成22年2月5日
「屋久島高校環境コース」展	平成22年2月21日～平成22年3月12日

## ③ 入館者100万人達成記念事業

屋久島環境文化村センターの入館者が100万人を達成したことから記念事業を実施した。

- ・入館者100万人達成日 平成21年7月23日
- ・記念事業

内 容	開 催 日	参 加 者
クリスマス映画会「ムーミン谷の彗星」他	12月23日	約170人
きさらぎ映画会「スラムドック\$ミリオンア」	2月13日	約70人

## ④ 中核施設利用者の状況

ア 屋久島環境文化村センターの状況

### 【入館者数】

区 分	20年度	21年度	対前年度比
入 館 者 数	73,851人	64,378人	87.2%
うち有料観覧者数	48,237人	36,697人	76.1%

### 【その他施設の利用状況】

施 設 名	利用回数(延べ日数)
レクチャー室	54回(65日間)
交流ホール	13回(229日間)

イ 屋久島環境文化研修センターの状況

### 【利用者数】

区 分	20年度	21年度	対前年度比
利 用 者 数	4,928人	5,000人	101.5%

### 【その他施設の利用状況】

施 設 名	利用回数(延べ日数)
視聴覚室	4回(4日)
レクチャー室	1回(1日)